



No.44

2022.02.08

# シニアの学び舎

レイカディア大学だより 草津校

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています



ともに学び、遊び、生きる  
レイ大の学び舎で出会った仲間たち

草津市ロクハ公園でウォーキング 広報情報部会員 稲田撮影

滋賀県レイカディア大学草津校  
令和3年度 学習成果展示会

スローガン  
遊んで学び  
深める人の輪

日時:令和4年3月5日(土)  
10:00~15:00

公開対象者:  
在校生・卒業生・ご家族のみ

予告



昨年の展示会の様子



## サポートの会 事業企画部会の今年度の活動テーマ “SDGs”の取り組み

SDGsの認識と理解を高め、  
レイ大での活動に役立てよう

「SDGs、MLGs」についての解説をまとめてみました。

SDGs…持続可能な開発目標	
Sustainable (持続可能な)	
Development (開発)	
Goals (目標)	17ゴール
国連サミット：2015年→2030年	



MLGs…琵琶湖版SDGs	
Mother (母)	母なる湖=琵琶湖
Lake (湖)	
Goals (目標)	13ゴール
滋賀県MLGs推進委員会：2021年→2030年	



### 【SDGs：エスディーゼーズ】

持続可能とは“長く続けることができる”という意味です。SDGsは全世界の人類共通の目標として、持続可能なよりよい世界を目指そうと、2015年9月の国連持続可能な開発サミットで採択され、2030年の達成目標に社会・経済・環境の3つの側面から17のゴールを掲げています。主な目標の内容は、全世界で…貧困・飢餓をなくす、すべての人の健康、すべての人の教育、水と衛生・エネルギーの確保、経済成長と人間らしい仕事、不平等をなくす、気候変動対策、海の保全、陸の自然の保全、平和…などです。

### 【MLGs：エムエルゼーズ】

MLGsは2021年のびわ湖の日（7月1日）40周年を機に「琵琶湖と人との共生」を基本理念として、琵琶湖と琵琶湖に根ざす暮らしに向けた13のゴールを掲げています。主な目標の内容は、清らかな水、きれいな水辺、豊かな魚介類、豊かな森、多様な生き物、温室効果ガス削減、気候変動や自然災害に強い暮らし、地域の資源を生かした経済、琵琶湖を楽しむ、などです。

## 《事業企画部会の取り組み方針》

事業企画部会では、レイカディア大学（以下「レイ大」）の活動（講義、卒業後の活動含む）にはSDGsの17ゴールに関連する項目があると考え、その関連性を明確にして、在学生、卒業生、サポートの会、同窓会、えにしの会の皆さんに認識して頂き、更にその内容をレイ大の知名度向上に役立てるよう提案したいと考えています。「全世界」なんて言えば何だか大きなことをしなくてはいけないように感じられるかもしれま

せんが、そうではなく、私たちの日頃の生活や活動、講義内容を振り返ってみて、SDGsに当てはめるという考え方です。しかし、そう言ってもなかなか難しいのでレイ大の講座を中心に事例を挙げて考えてみましょう。

【関連性の事例】ゴールの内容の詳細については沢山の本が出ていますので一度見てください。

	活動内容、レイ大の講座、学科など		ゴール NO.	ゴール（開発目標）
①	子ども食堂などのボランティア活動	地域活動体験学習	2	飢餓をゼロに
②	高齢期の健康づくり	健康づくり学科	3	すべての人に健康と福祉を
③	私たちの暮らしとエネルギー	びわこ環境学科	7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
④	陶芸の基本、作陶の心得	陶芸学科	9	産業と技術革新の基盤をつくろう
⑤	近江の文学的風土	地域文化学科	11	住み続けられるまちづくり
⑥	樹木管理の基本	園芸学科	15	陸の豊かさを守ろう

事例は一つの講座と一つのゴールだけ示しましたが、一つの講座からもっと多くのゴールにつながることもあります。講座の内容をもっと深く掘り下げ幅広く展開すれば、更にSDGsとの関わりが見えてくると思います。事例①に示したような皆さんがされているボランティア活動への展開も大事です。

このように関連性を考える活動を広げていき、皆さんのSDGsの認識を高めて頂きたいと考えています。

なお、MLGsも視野として入っていますが、世界的に広く展開するにはSDGsが適していると判断しています。今や、SDGsは新聞やテレビで多く取り上げられており、小学校でも習い始めているところもあります。

私たちも内容を理解すれば、若い人たちとの楽しい話の輪が広がる効果も期待できると思います。

事業企画部会 部長 新垣 重男 (40期びわこ環境学科)

## 紹介

## 広報情報部会

### 広報情報部会の活動って？

サポートの会に入るにあたり、部会選びに悩みました。「39期の先輩に楽しく活動できるよ」と誘われ、何も知らずに入会。“シニアの学び舎レイカディア大学だより”を年4回発行するとのこと。でもパソコンできないと無理でしょ？取材は大変？と誰もが思うこと。メールできたらOKよ。そんなのでいいの。ドキドキ。入会して副編集長の役を。そして副は次年度の編集長になると聞いてまた、ドキドキ。先輩の後付いて見よう見まねの日々。40期が中心になり始めてもう最後の号になりました。月一回の定例会で、部会長はじめ、35期からの先輩部員の方々の心強い助言も頂き、部員、皆で、次



号の掲載記事を検討し、寄稿依頼や取材の段取りをします。取材は2、3人で現地へ出向き、取材しながらいつの間にか一緒に楽しんでいたりします。記事が揃い、紙面編集、校正を定例会で最終確認し印刷へ。完成した学び舎は皆で発送作業をします。こんな流れで1号出来上がりです。

広報情報部会 柏木 明美 (40期健康づくり学科)

お知らせ

在校生・卒業生・レイ大に関わる皆さんへ

## 「パソコン何でも相談室」開設

令和3年12月より「パソコン何でも相談室」を開設しております。  
パソコンのOS関係（Windows、Mac）、ソフト関係（Word、Excel、PowerPoint 他）  
インターネット、周辺機器、デジタルカメラ、スマホなどに関する、不明な点や使  
い方などの疑問・質問に予約なしで相談できます。費用は無料です。お気軽にご  
利用ください。



### 実施内容

① 開設日	原則、毎月第2火曜日（広報情報部会開催日）とします。 （但し、利用状況等により日程を変更する場合があります）
② 時間	午後1時～4時（3時間）
③ 場所	レイカディア大学 活動室（インターネット可）
④ 方式	個別対応方式（一問一答方式）
⑤ 予約	不要
⑥ 人数	制限なし（部屋に入れる人数）
⑦ 持参品	パソコン、スマホ、デジカメその他質問したい機器（無くても可）
⑧ スタッフ	広報情報部会のメンバーほか

★聞きたい知りたい疑問・質問に広報情報部会のスタッフがサポートします。



寄稿

## 卒業後の活動となった 第11期サポートの会

卒業後はサポートの会に入会して、  
さらなる仲間づくり、生きがいの  
輪を広げよう！

第11期サポートの会の活動も残すところ僅かとなりました。  
会員の皆様には、会の目的である在学生在が楽しく学べる環境づ  
くりの観点から、学びを生かす場を創り、実践することにより、  
一緒に楽しむというサポートの会の目的に沿って支援活動にご  
協力いただき有り難うございました。心よりお礼申し上げます。

今年度も昨年に引き続きコロナ禍の影響を受け、2ヶ月余りの  
期間、活動を休止せざるを得ない状況となりましたが、在学生の  
皆さんの学びへのモチベーションが落ち込まないよう何とかお  
力になれないかと、各部会とも制約がある中で一所懸命活動に  
取り組んでいただきました。

昨年の学生募集の中止により在学生在が42期生1学年となるこ  
とから、卒業生による寄付講座という形で、レイカディア大学の  
学びの中で得た仲間づくりの大切さやそれを生かした卒業後の  
活動の継続について、先輩の立場から体験談を発表し交流を深  
めました。

今年の学生募集については、よりレイ大の良さを知っていた  
だくために募集要項のページ増による紹介内容の充実や、会員

の皆さんや同窓会の皆さんのご協力によりあらゆる機会を通  
じて募集活動に取り組み、多くの学生さんに43期生として入  
学いただくことが出来ました。

コロナ禍により開催が危ぶまれていました講演会について  
も、思い切って開催をしましたが、学校法人佛教教育学園理  
事長の田中典彦先生の「眼をひっくり返す」と題しての講演  
は、会員や卒業生、在学生の約200名の聴講者を得て、参加  
者からは絶大な高評価をいただき盛況裡に終わりました。

私たちの活動は、3年間と短いものではありませんが、先輩か  
ら受けた支援を在学生の皆さんへと引き継ぎ、レイ大で学ん  
でよかったと少しは実感していただけたのではないかと思っ  
ております。

42期生の皆様の入会を期待申し上げますとともに、今後も  
会員皆様のご支援とご協力を引き続きお願い申し上げます。

11期サポートの会 代表  
松瀬 徳之助(40期園芸学科A)

### 11期サポートの会 ふりかえり

一昨年レイ大卒業後にサポートの会に入会し活動をするこ  
とになり、様子がわからないままに10期の総務担当として会議と  
その議事録の作成等を担当しました。11期サポートの会になり  
総務代表となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大があり自粛状  
態により活動中止や延期、感染予防下での活動など会議開催も  
ままならない状況下で、各部会の活動や計画していた行事を中  
止や延期せざるを得ないことが続いた2年半となりました。

レイ大で学び卒業してからのサポートの会や同窓会活動の中  
で、年代を超えた仲間づくり、生きがいの仲間と地域と

「ともに生きる」を体感し実感しました。一人ではできない  
ことも仲間がいると楽しく取り組めることにあらためて気づ  
いたと感じています。

サポートの会がレイ大の将来と学生生活が充実したものに  
なることを支えに、多くの方や団体と協力して、これからも  
前向きな活動をしてもらえればと思っています。

11期サポートの会 総務代表  
長 幸雄(40期地域文化学科)

## びわこ地球市民の森 竹林の整備ボランティア

12月3日(金)守山市にある県営都市公園びわこ地球市民の森において、レイカディア大学草津校サポートの会主催による「レイカディアの日」が初冬の晴天のもと開催されました。

例年は6月頃の開催ですが、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、昨年は開催が見送られ、今年は41期生の卒業が3月になったことや、大勢の人が集まることの制限等で開催を見合わせていたこともあり、感染状況の改善を受けてギリギリのタイミングで、この日の開催になったとのことでした。

参加者も以前は米原校や同窓会・サポートの会メンバー等の参加で200人規模でしたが、今回は在校生有志の人が約50人、サポートの会地域活動部会メンバーと役員が約30人と規模を縮小しての開催になりました。

地域活動部会の小村部会長、サポートの会松瀬代表、地球市民の森の江見所長の挨拶の後、園芸学科の講師も務めていただいている地球市民の森スタッフの平塚先生による作業説明を受けた後、4班に分かれて「ふるさとゾーン」の現場に移動しました。



集合！ 作業の説明などを受ける参加者の皆さん

今年の作業は竹林の間引きで、太い竹を残し細い竹を切って、それを竹林の中から運び出します。皆さん慣れない作業に苦労されていました。また、マスクを付けての作業は思いのほか苦しく、この時期にもかかわらず汗をかきながらの作業になりました。約2時間の作業でうっそうとしていた竹林は、見違えるようにすっきりし、公園スタッフの方からぜひ来年もお願いしたいと感謝の言葉をいただきました。

例年は作業の後、全員でバーベキューを行うのが恒例で、それがこのイベントの楽しみでもあったそうですが、今年は残念ながらバーベキューは無くそのまま解散となりました。来年は是非サポートの会からもたくさん参加できたらと思いました。

取材／芝田・野村・川島



間引いた竹を運び出す作業



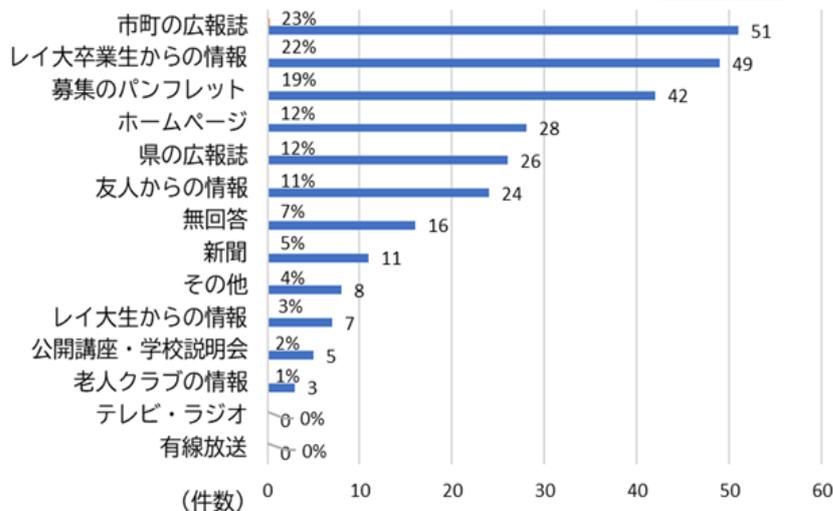
細い竹の間引き作業



## 43期学生募集願書アンケート結果

学生募集を何で知りましたか？

複数回答



レイカディア大学(以下、レイ大)では学生募集時にアンケートを実施しています。

43期生のアンケート結果では、「学生募集を何で知りましたか？」という問いでは、レイ大卒業生からの情報が約22%で、サポートの会の皆様の力が大きいと、この数字から明確に読み取れます。

サポートの会の皆様からの情報は、卒業してあまり年数が経っていない方々のリアルなもので、授業やクラス活動の様子、仕事との両立、仲間づくり、そして卒業後の地域活動等、入学に迷っている方の背中を押す安心感のあるメッセージであり、これに勝るものはないと思っています。

10月から44期生募集に向けた検討が始まっています。引き続きレイ大の魅力を伝えて頂くとともに、ポスターやチラシ配布等の広報活動や説明会において、これまでに成功した事例に加え、新たに広報先を開拓していく等、事務局、同窓会、サポートの会が知恵と行動を結集し、一丸となって取り組んでいきたいと考えております。何卒よろしくをお願いします。

(アンケート実施・集計 レイカディア大学事務局)



【編集後記】「レイカディア讃歌」にある「ともに学ばん、ともに遊ばん、ともに生きなん」の心を情報発信しようとの思いで誌面作りを行ってまいりましたが、あっという間に第11期広報情報部会担当の「シニアの学び舎」は最後の44号になってしまいました。

自肅を強いられたコロナ禍の中、1年間多くの皆様に取材及び原稿執筆のご協力を頂きました心より御礼申し上げます。次号からは第12期広報情報部会員のフレッシュなメンバーで充実した誌面作りをされる事を期待致します。

(T.N)